

環境経営レポート

対象期間

令和4年6月～令和5年5月

令和5年9月1日発行



株式会社アイル・クリーンテック

1.組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

株式会社アイル・クリーンテック寄居工場
代表取締役 藤生 光博

(2)所在地

本社 埼玉県さいたま市浦和区常盤
5丁目2番18号

寄居工場 埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山328
彩の国資源循環工場内

(3)設立年月日

平成15年1月20日

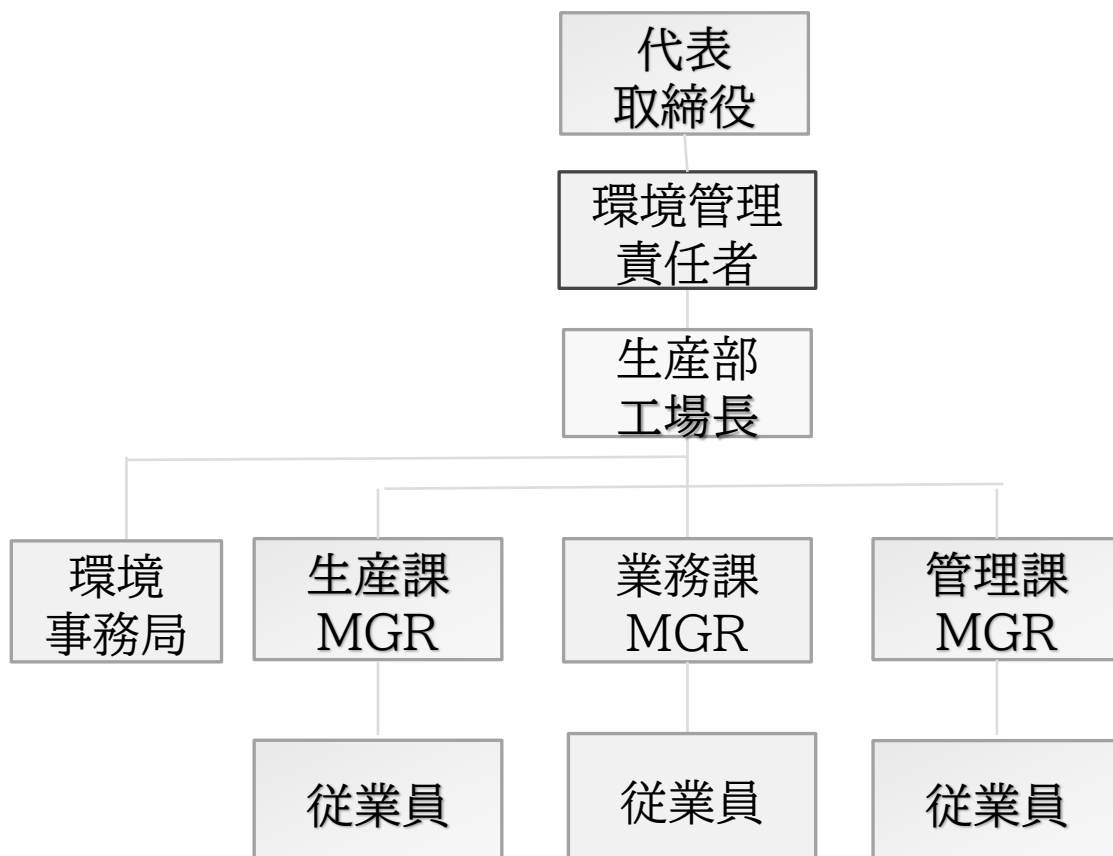
(4)資本及び売上高

資本金1億円
売上高266百万円

(5)環境管理責任者

生産部 大隅 紀章
連絡先 048-577-0605

(6)組織図(従業員13名)



(7) 主な事業内容

廃棄物の処理及び収集運搬に関する業務

廃棄物の処理施設及び装置の開発・設計・販売に関する業務、環境に関するコンサルティング業務

(8) 許可の内容

許可の種類	許可自治体	許可番号	許可日	許可期限	許可の内容
一般廃棄物処理施設設置	埼玉県	12	H16.4.23	-	混合ごみ (食品残さ、剪定枝、刈り草、し尿汚泥)
一般廃棄物処理業	寄居町	2104S025	R5.4.1	R7.3.31	木くず、動植物性残さ 食品循環資源
産業廃棄物処分業	埼玉県	01120112439	R1.9.11	R6.7.29	汚泥、廃油、廃酸、 廃アルカリ、木くず、 動植物性残さ、動物の糞尿
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01104112439	R3.2.1	R7.12.8	汚泥、廃油、廃アルカリ、 木くず、動植物性全さ、 動物の糞尿、廃酸
再生利用事業登録	農林水産省 環境省	11-4-3	R4.4.22	R8.2.19	肥料化事業
一般廃棄物収集運搬	吉川市	11	R4.9.1	R6.8.31	事業系一般廃棄物(粃殻のみ)、 (有)中井農産センターの廃棄物 限定
一般廃棄物収集運搬	寄居町	B2112BU053	R5.4.1	R7.3.31	木くず、動植物性残さ 食品循環資源

※食品リサイクル肥料認定制度(一般財団法人日本土壌協会)

FR認証取得

堆肥の名称	アドニス	めばえ	みのり	穂のか
認証番号	11010121	11010221	11010321	11010421
認証証発行	R3.9.21	同左	同左	同左
有効期限	R6.9.20	同左	同左	同左

※彩の国リサイクル製品認定(埼玉県)

堆肥の名称	めばえ	アドニス	みのり	穂のか
認定番号	第15-1	第15-2	第15-3	第15-4
認定年月日	H31.4.1	同左	同左	同左
有効期限	R4.3.31	同左	同左	同左

(9)事業の規模

2022年6月～2023年5月の実績

中間処分量 10,045t

(一般廃棄物 6,525t 産業廃棄物3,520t)

一般廃棄物収集 383t

産業廃棄物収集 75t

売上高 266百万円

処理施設

堆肥化施設

108t/日(処理能力)

パレット式自動管理システム

車両・設備

アームロール車1台、フォークリフト3台

ホイールローダー1台、ショベルローダー2台

堆肥散布車1台

(10)対象範囲

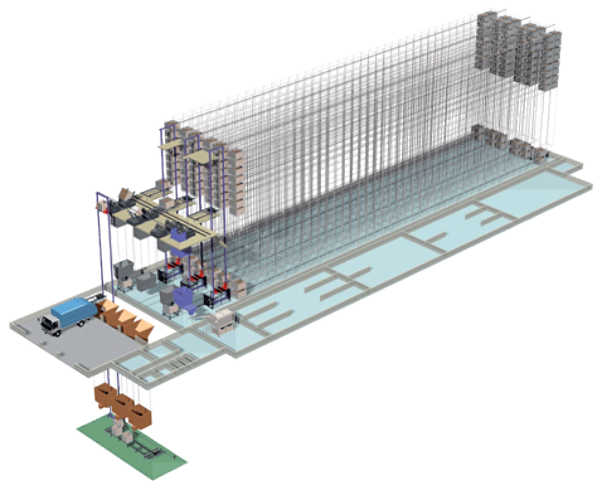
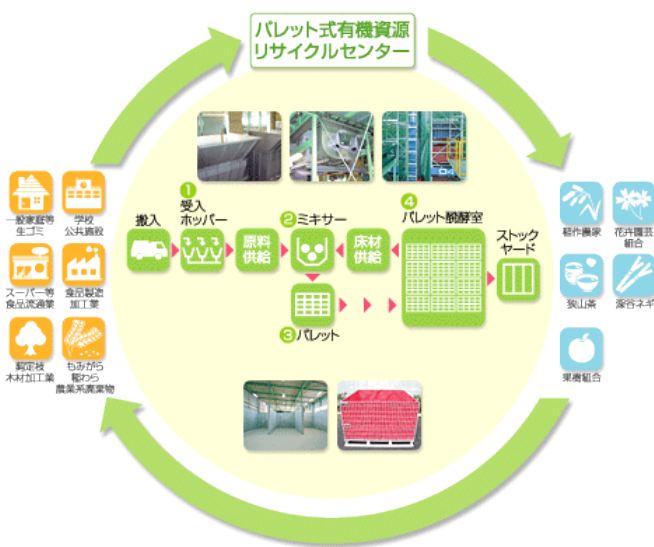
寄居工場 埼玉県寄居町大字三ヶ山328

彩の国資源循環工場内(本社はクリーンシステム(株)の

ISO14001登録範囲のため、EA21適用は寄居工場のみ)

(11)認証・登録範囲

一般廃棄物中間処理業、産業廃棄物中間処理業、食品リサイクル業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業



2.環境経営理念・方針

環境経営理念

私たちは、当社の主要事業である「食品廃棄物のリサイクル業務」が、地域社会に密着し、良好な生活環境の維持に深くかかわっている事を踏まえ、さらに人と自然が調和した清潔な環境の推進に配慮した事業活動を通じて、美しい地球環境保全の継続的向上に努めます。

環境経営方針

私たちは、当社の事業活動を行うにあたっては、常に環境との調和を主要な課題として位置づけ、良好な自然環境を健全な形で次代に継承するために、以下の活動を推進します。

- ①私たちの事業活動が、環境にどのような影響を及ぼすかを常に探求し、エコアクション21の継続的改善に全従業員で取り組みます。
- ②私たちの事業活動が環境に与える影響を考慮するとともに、以下の項目については、優先的に推進し、汚染の予防に努めます。
 - ・顧客満足の上昇と人材の育成
 - ・CO₂排出削減、省資源
 - ・環境配慮型製品の販売促進、グリーン調達
- ③私たちの、事業活動に関連する環境の法規制、及び私たちが同意するその他の要求事項を遵守します。
- ④私たちはこの環境方針達成のため、環境目標を設定し、具体的展開を図るとともに定期的にその見直しを行います。
- ⑤私たちは、当社のリサイクル業に係る堆肥化工程の廃棄物削減、食品リサイクルの推進、社外での啓発活動など社内で定めたSDGsの目標へ向け活動します。また、2030年のSDGsの目標に向けての社会情勢に目を向け、必要な活動は積極的に取り入れます。

⑥課題とチャンスをつかんだ取り組み

- ・内部の課題として、堆肥化プラント設備の老朽化が挙げられます。堆肥の販売は好評を得ており、事業活動の継続プランとして、既存設備の維持と共に、新たな設備の設置を進めます。数年以内に新規設備の稼働を開始します。
- ・外部からの課題としては食品リサイクル堆肥の原料でもある食品リサイクル廃棄物の受け入れ確保が挙げられます。当社は自前の収集運搬車両が1台しかないため、自社での収集運搬が限定されていましたが、グループ会社の収集運搬している排出先からも、回収しきれずに焼却に回しているという話もききます。そのため、収集運搬車両の増加、許可の取得を進めていきます。

株式会社アイル・クリーンテック
代表取締役 藤生 光博

制定 2016年11月1日
改定 2022年 9月1日

3.環境経営目標

目標 (単位)	基準年 2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電力CO ₂ 排出削減(kg-CO ₂)	318,450	315,360	312,174	308,989
電力以外のCO ₂ 排出削減(kg-CO ₂)	21,562	21,346	20,131	20,915
CO ₂ 削減総排出量	340,012	336,706	332,305	329,904
水使用量の削減(m ³)	2,401	2,377	2,353	2,329
産業廃棄物の排出量削減(kg)(鉄くず除く)	190,895	188,986	187,077	185,168
受託した産業廃棄物処分における環境の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・臭気の漏洩防止 臭気指数 10~20内 ・騒音の抑制 60d未満 	・同左	・同左	・同左
環境配慮型製品の販売促進 堆肥販売実績(円)	5,689,000	5,689,000	5,745,890	5,802,780

電力における二酸化炭素排出係数:0.484kg-CO₂/kwh

(日本テクノ株式会社調整後排出係数)

4.環境経営計画

①CO₂排出削減

●消費電力削減

各機器及び照明の不使用时off、
業務終了時の見回り実施

スクリーン等回転数のメモリを1割ダウン

脱臭機運転の出力調整(発酵室内の状況による)

エアコン設定(冷房28℃以上、暖房20℃以下)

プラント稼働時間の短縮、デマンド管理

●車両関係

空ふかし禁止、アクセルペダル調整(べた踏み不可)

使用燃料チェック表の記入、燃費の良い車両への入れ替え

②水使用量の削減

●毎日のメータチェック、記入(水漏れの早期発見)

手洗い時等の節水、ノズルの取付

③廃棄物の排出量削減

●堆肥化効率向上及び適正な堆肥熟成による産廃削減、鉄くず等有価物はリサイクル業者へ委託、裏紙の使用(事務関係)

④環境配慮型製品(リサイクル堆肥)の販売促進

●ユーザー様とのコミュニケーション(暑中見舞い、年賀状、挨拶回り、社内通信の発行、HPにてトピックスの更新)

お客様カードによる口コミ等伝達状況の確認

地域イベント等への参加、宣伝

⑤工場運営の設備機器の維持管理

●日々の見回りの実施、異常箇所のチェック

定期メンテナンス(年2回)の実施及び修繕箇所の洗い出し、随時修繕の実施

●トラブル時の対応手順書の作成、資料のデータ化

⑥受託した産業廃棄物処理における環境の配慮

●堆肥の質の向上、分別の徹底

●臭気、騒音等環境への配慮

5.環境活動目標とその実績

○目標及び実績 目標は2021年度の数値を元に設定。実績は2022年6月～2023年5月のもの。

(○は達成項目、△は未達項目、×は達成率80%未満の項目)

項目	目標	実績	達成状況
電力CO ₂ (kg-CO ₂)	315,360	393,376	△(達成率80%):基準した2021年度は大型モータの運転停止時期もあり大幅に削減となっており、その水準を通常運転時でも目指したが、達成できなかった。
電力以外CO ₂ (kg-CO ₂)	21,346	23,551	△(達成率90%):堆肥の増産作業をほぼ毎週実施したことで重機の使用頻度が増えたことにより、未達となった。
CO ₂ 総排出量	336,706	416,927	△(達成率80%):上記の要因による。
水使用量 (m ³)	2,401	3,304	×(達成率72%):使用量は実感としてはそこまで増えておらず、新社屋のトイレで定期的な自動洗浄があるくらい。漏水の可能性も検討、調査を行う。
産業廃棄物 (kg)(鉄くず除く)	188,986	192,870	△(達成率97%):今年初めの冬場に水分過多の堆肥が多く出てきてしまい、廃棄量増につながった。適正なレンピの仕様により減少を目指す。
受託した産業廃棄物における環境の配慮	臭気指数 10～20 騒音 60db未満	臭気指数 10未満 騒音 51db(ピーク時)	○環境測定の検査値において規定内。臭気は敷地境界線4点でいずれも10未満。薬液洗浄装置2点で14,12となった。騒音は基準が朝、昼、夕、夜が65,70,65,60に対し47,50,49,49となった。
堆肥販売量 (円)	5,745,890	5,526,555	△(達成率96%):冬場の未熟堆肥の増加により、購入をお断りするケースがあった。需要はあるので在庫の確保と堆肥の適正な熟成を推進する。

6.環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(○は達成事項、△は未達事項、×は達成率80%未満の事項)

①CO₂排出削減

●消費電力削減…△

2021年度との比較で増加となった。達成率は80%。

基準とした2021年は大型のモーター基が故障で停止する時期があり電力使用量が減少。通常運転でも出力調整その水準をキープできるかを検証したが未達となった。次年度は2022年度の通常運転の値を基準として目標値を修正する。

●車両関係…△

堆肥の需要が増えて毎週増産体制を取ったため、重機の使用時間が増えてCO₂排出量も微増となった。アワーメーターを見ても使用時間そのものが増えているので、次年度はエコ運転の再教育を行う。

②水使用量の削減…×

使用量は実感としてはあまり増加した印象はないが、数値調査の結果大幅に増えており、達成率72%となっている。新社屋のトイレの自動洗浄くらいだが、漏水の可能性もあり追って調査を行う。調査結果を踏まえて補修対応を行い、目標値の適正値を検討する。

③廃棄物の排出量削減…△

達成率は97%。近年は減少出来ていたが、今年度は冬場に未熟堆肥が多く発生してしまい、微増に転じた。次年度は定期的にレシピの見直しを行い、適正な発酵状況を維持して廃棄する量を減らしたい。

④環境配慮型製品の販売促進(堆肥販売量)…△

冬場の堆肥の未熟醗酵の影響で売り漏れがあり、目標達成率96%となった。需要は十分に見込めるので、在庫確保と適正な堆肥生産を維持したい。増産により次年度の生産量の増加し、販売目標に上乗せする。

⑤工場運営の設備機器の維持管理…○

プラント設備や発酵パレットの格納棚の劣化が近年は顕著になっている。今後設備の増設なども検討中だが既存の設備の延命対応も進めている。次年度以降は新規設備の増設を推進する。

⑥受託した産業廃棄物処理における環境の配慮…○

騒音、臭気の測定値は基準内となった。

環境に関するクレームの類は特になかった。

次年度も引き続き継続取組事項とする。

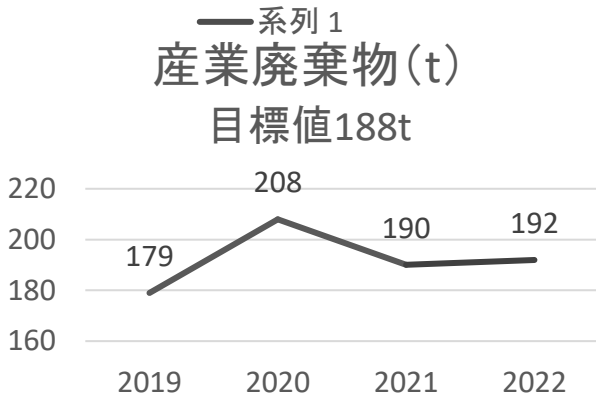
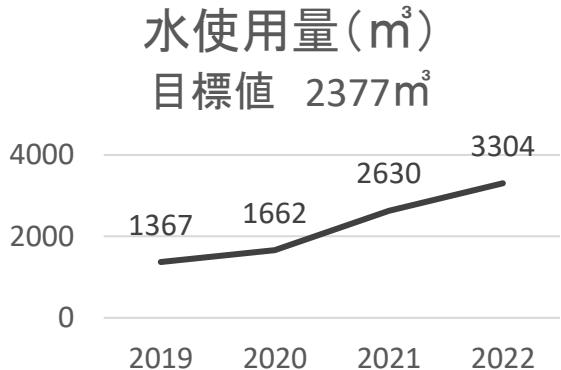
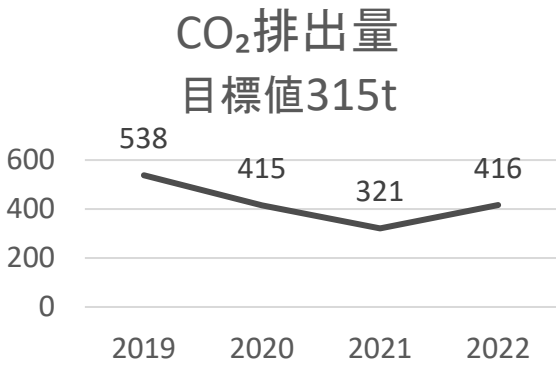
7.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法規名称	要求事項	該当設備・項目	判定
廃棄物処理法	7条 一般廃棄物収集の許可	一般廃棄物	許可証 ○
同上	12条 産業廃棄物収集、処理業者の許可	産業廃棄物	契約書、許可証 ○
同上	12条の3第9項 処分の受託 12条の3第10項 収集運搬の受託	マニフェスト	マニフェスト ○
浄化槽法	5条 設置の届出 8条 保守点検 11条 定期検査	浄化槽	届出書及び報告書 ○
フロン排出抑制法	簡易点検	業務用空調機 エアコンプレッサ	○
肥料取締法	22,23,27条 事業開始及び販売業務の届出、帳簿の保存	届出時 業務開始時 販売帳簿	帳簿 ○
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	再生利用事業者の登録11条	事業者	登録証 ○
彩の国資源循環工場の運営協定	敷地内の向上運営に関する協定	当工場施設全般	協定書 ○
計量法	19条 定期検査の受検	トラックスケール	検査書 ○
悪臭防止法	規定の臭気測定値未満 臭気指数18未満	悪臭物質1のアンモニアが該当	定期検査書 ○
騒音規制法	埼玉県生活環境保全条例における地域別騒音基準の遵守 7.5kw以上の騒音設備の届出	朝:65 昼:70 夕:65 夜:60	定期検査書 基準値以下 ○ 7.5kw以上の設備は脱臭機3台とエアコンプレッサ1台で届出済

違反、訴訟や苦情の類は特になかった。

8.代表者による全体の評価と見直し、指示

環境負荷の面でCO₂排出量、水使用量、廃棄物量で目標未達項目となる。



目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の削減	△	△	脱臭機の補修を行い、出力を上げたため、電力使用量が増えている。発酵室内の環境を確認しつつ、出力調整を行っているが、前年度よりも減らすことはできなかった。
電力以外の燃料の削減	△	△	大幅な増減はなかったが、微増となった。車両のエコ運転は引き続き推奨する。
廃棄物の削減	△	△	前年度よりもやや増加となった。半年に一回実施している汚泥引き抜き処理量については削減できたが、堆肥化の残渣が未熟堆肥の増加に伴い増えている。
節水	×	×	消費量はかなり増えているが、使用量の実感としてはあまり増えていないはずなので、漏水の可能性もある。
グリーン購入	○	○	引き続き、備品購入の際の推奨項目とする。
環境への配慮	○	○	特にトラブルは無し。臭気と騒音の定期検査もパス。定期的に来社する地元監視団の方にも丁寧に業務の説明を行っている。
CO ₂ 排出量削減	△	△	電力消費の部分で昨年度はかなり下がったが、そこに目標設定を行ったため、目標としては未達となった。

水は2021年に新社屋を建てたこともあるが毎年増加しているが、作業的に水を大量に使う要素は増えておらず、漏水の調査も行う。CO₂排出量と産廃も前年より増えており、前述の活動内容における現場での節約を推進する。

環境活動の実施体制については2ページ目の組織図参照。代表者の指示を工場長と各課マネージャーで合議し、実施する。

有機性産業廃棄物処理と堆肥製造の2つの看板を掲げて18年間活動してきたが、次ページ以下の環境学習、イベントやCSR活動などの付加的な活動も積極的に行い企業価値を高めていきたい。

9. 2022年度の環境活動等(1)



吉川市立
吉川小学校様
出前授業



さいたま市立
大牧小学校様
出前授業



さいたま市子ども
家庭総合センター
あいぱれっと様
工場見学及び
環境学習

9. 2022年度の環境活動等(2)



寄居町立
寄居中学校様
工場見学及び
環境学習



イオンモール
浦和美園様
SDGsクイズラリー
イベント出展



埼玉県・イオン上尾様
環境フェスティバル
出展

9. 2022年度の環境活動等(3)



埼玉県・
コルソ浦和様
環境フェスティバル
出展



伊奈町児童館
自主事業
「ゆずりば」出展



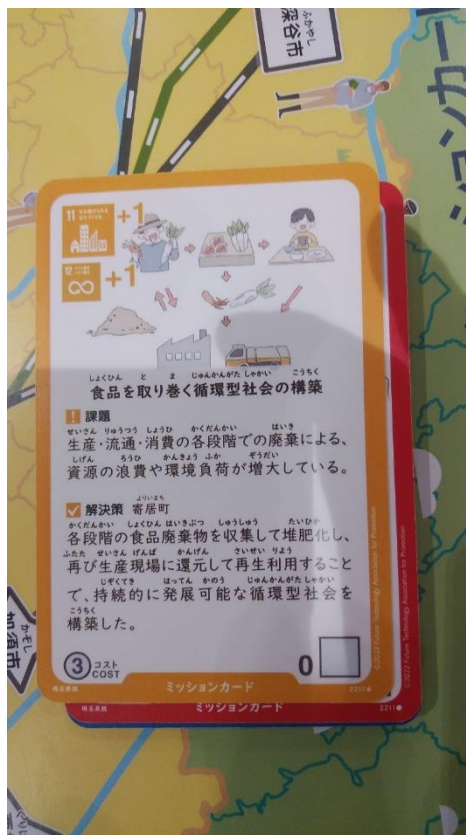
9. 2022年度の環境活動等(4)



「特定非営利活動法人
三愛茜の里様」
へのお米の寄付活動



埼玉県版
ふるさとSDGs
ボードゲーム
制作協力



9. 2022年度の環境活動等(5)



寄居町駅伝大会
事業者協議会
チームとして参加



寄居北條まつり
武者行列参加



鶴ヶ島市
環境月間
市役所にて展示

9. 2022年度の環境活動等(6) 広報活動

2023年10月1日発行

2023. 10月号 VOL.27

令和4年8月形の工場に認定されました

ICTだより

みんなの思い伝えます

ヤオコーエコセンター工場見学会を開催★

アイルグループ施設見学会

■アイル・クリーンテック社員一同
8月10日、11日、18日の三日間で3グループに分けてヤオコーエコセンターの工場見学会を実施しました！（ヤオコー熊谷物流センター内）

■工場内の作業内容はペットボトルや発泡スチロール、スチール缶などを機械でプレス（減容機）してリサイクルを行っています。

■エコセンターの場長金井さんに工場の案内して頂き、センター内にある食堂で昼食を美味しく頂きました。

※食堂で使われている美味しいお米は当社のお客様、のりす（株）様のお米です。

■アイル・クリーンテックではグループ内の見学や勉強を進めます。

金井場長の話を聞くICT社員

今年例年に比べ暑い日が続いた為ペットボトルのリサイクル量が増えているとのことでした。

■アイル・クリーンテックではグループ内の暑期中、従業員の皆さんは一生懸命に作業をしていました。

環境学習 出前授業

令和5年7月20日（木）9：40～10：40

さいたま市立大牧小学校で出前授業を行いました。

一緒に学習した生徒は90名（小学4年生全生徒）大規模な合同学習となりました。

★出前授業メンバーは山口MG、大隅MG、藤藤社員です。

今回の授業内容は「発酵と微生物と分解」動画の視聴と食と環境を課題としたクイズを出題。子供達に楽しみながら学べる授業となりました。

今回もバタバタは子供達に好評でした→

子供達が真剣な眼差しで質問しています！

ICT実験圃場

■今期1回目の収穫が終わりました。今回はトウモロコシ、人参、枝豆を収穫しました。キャベツもありましたが虫に食べられてしまって収穫出来ない状態で残念でした。収穫した野菜は、どれも小ぶりになってしまい、栽培の難しさを実感しました。お店に並んでいる野菜を作る農家さんの努力を身に染みています。これからも実践と良い野菜を作る為に頑張ります！



トウモロコシ 人参 枝豆

環境学習 工場見学 令和5年7月31日（月）開催場所：アイル・クリーンテック寄居工場内

さいたま市こども家庭総合センター あいばれっと様の主催で夏休み子供見学会を行いました。子供達は工場内にある設備や堆肥に興味深々でした。自由研究の題材にしたいと言ってくれた子もいたり、良い経験になったと思います。

子供達に説明する藤藤社員 説明を熱心に聞く参加者様

彩の国探検記 第一回 難攻不落の城「鉢形城」

新連載のテーマは埼玉の気になる所、素晴らしい所に実際に赴いて自分の目で感じた事を発信していきます！宜しくお願い致します。

第一回は当社で毎年、参加させて頂いている「北条祭り」でかわり深い鉢形公園内にある「鉢形城歴史館」に行きました。

豊臣秀吉が総勢20万の軍勢で小田原攻めの際、後北条氏の重要な支城として籠軍に鉢形城は包囲されましたが、1ヶ月の籠城の後、名將「北条氏邦」が城兵の助命を条件として開城されました。鉢形城は二つの挟まれ天然の要害として難攻不落の名城でした。

「鉢形城歴史館」定休日 月曜日 祝日の翌日、年末年始
開館時間 9時～16時半（入館は16時まで）入館料 一般200円 学生 100円 ※館内は撮影禁止なので、館外の撮影です

SNS発信中！
気軽に覗いてみてください！

フォロー、いいね！お願いします

ホームページ YouTube X (Twitter)

〒369-1223埼玉県大里郡寄居町三ヶ山328
TEL 048-577-0605 FAX 048-577-0607

肥料の事などはお電話にてお問合せ下さい！ 次回発行2024年1月予定 発行者：高野

アイル・クリーンテック 食品リサイクル 有機質肥効発 有機質肥料リサイクルを通じ、人と食と自然の関係について真剣に考えます。

私たちの強み FEATURES 事業紹介 SERVICE 会社概要 ABOUT US 環境への取り組み ENVIRONMENTAL INITIATIVES お問い合わせ 採用情報

お知らせ

ICT 2023年10月5日

9/23、24（土、日）にイオン浦和美園の環境イベントに出展しました

イオン浦和美園にてSDGsなぞときラリーというイベントが開催されました。アイル・クリーンテックもブースを出展し、食品ロスクイズや分別クイズ、食品リサイクルショートストーリー、グッズ配布などを行いました。

親子連れ様が多く訪れてくださり、熱心に社員の話を聞いてくれました。



<https://www.i-ll-group.co.jp/ict/>

社内通信の発行、ウェブサイト上にて情報発信